MXシリーズ

USER'S GUIDE

ユーザーズガイド

ご使用の前に「本製品を正しく安全にご使用いただくために」（☞1ページ）を必ずお読みください。

ONKYO

はじめに

このたびは、「ONKYO MXシリーズ」をご購入いただき、まことにありがとうございます。
本書では、本製品を使うための準備から活用方法まで、本製品をお使いいただくための基本的なことがらを記述しています。お読みになったあとは、大切に保管してください。

また、本書の「本製品を正しく安全にご使用いただくために」には、本製品を使ううえで特に知っておかなければならない注意事項を記載しています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みください。

- 本書に記載している内容の、一部またはすべてを無断で転載・複写することは、禁じられています。
- 本書に記載している内容は、将来予告なく変更する場合があります。
- 本製品には、あらかじめOSがインストールされています。それ以外のOSをインストールされた場合、パソコンの正常動作は保証できませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品には、あらかじめいくつかのソフトウェアがインストールされています。ソフトウェアは、ソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書の内容に同意した責任者だけ使用できます。同意書の内容に反したソフトウェアの使い方をすることは、禁じられています。
- 本製品は、医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器などのように、人命にかかわり高度な信頼性を必要とする設備や機器への使用を目的として、設計していません。これらのものへ使用し、何らかの障害が発生しても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

- Intel、IntelロゴはアメリカA合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows 7およびWindowsロゴは米国マイクロソフト社の登録商標です。
- VGAは米国IBM社の登録商標です。
- Symantec、Symantecロゴ、Symantec GhostはSymantec Corporationの商標です。
- SDメモリーカードは、パナソニック株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, INC.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品を正しく安全にご使用いただくために

本書には、お客様や他の方々が、財産などへの危害や損害を防ぐための重要なことがらを記載しています。
本製品をご使用になる前に、必ずお読みください。

表記の意味

⚠警告　守らなかった場合、死に至る、または重度のけがを負う危険が発生する可能性があることを表しています。

⚠注意　守らなかった場合、軽度のけがや本機などへの重大な損害が発生する可能性があることを表しています。

⃠禁止　してはいけない事柄を表しています。記号と共に描かれているイラストは、その内容を示しています。⃠は「分解禁止」をあらわします。

❗指示　しなければならない事柄を表しています。記号の中に描かれているイラストは、その内容を示しています。は「電源プラグをコンセントから抜く」をあらわします。

安全上のご注意(⚠警告)

本体

洗い場、風呂場など、本機に水がかかる場所では使用しないでください。火災･感電の原因となります。

絶対に分解･改造をしないでください。火災・感電の原因となります。また、無償修理の対象外となります。

長時間使用する場合は、本体の底部が発熱しますので、膝の上に置いて使用しないでください。(発熱することは異常ではありません。)

電源、電源コード、ACアダプタ

付属のACアダプタ以外は使用しないでください。火災･感電の原因となります。

ACアダプタから何かこげるような匂いがしたり、表面がかなり熱いときは直ちに電源プラグを抜いてください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。

電源が100V～240Vの範囲内であることを確認して使用してください。100V～240Vを超える電源を使用すると火災・感電の原因となります。

バッテリパック

付属のバッテリパック以外は使用しないでください。また、付属のバッテリパックを本製品以外に使用しないでください。発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリパックを火の中に入れないでください。破裂の恐れがあります。

バッテリパックに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

バッテリパックから液が漏れて、液が目に入ったときは、障害を起こす恐れがあるので、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

バッテリパック充電時に、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。そのまま充電を続けると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

バッテリパックが漏液したり、異臭がするときは、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

バッテリパックは、危険を防止するための保護装置が組み込まれています。分解・改造などしないでください。保護装置が壊れ、発熱・発火・破裂の恐れがあります。

メ モ

二次電池を安全に安心してご使用いただくためには、(社)電子情報技術産業協会の“バッテリ関連Q&A集”(http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/battery/menu1.htm)の内容をご覧いただきながらのご使用をお勧めいたします。

電波

電車やバスなど、人がおおぜいいる場所では、ワイヤレスLAN、Bluetoothを使用しないでください。心臓ペースメーカなどの医療機器が誤作動を起こすおそれがあります。

心臓ペースメーカを装着されている方は、本機を30cm以上離してご使用ください。心臓ペースメーカが誤作動を起こすおそれがあります。

病院、航空機など、無線機器の使用が制限されている場所では、ワイヤレスLAN、Bluetoothを使用しないでください。電子機器に影響を与え、人命にかかわる障害が発生するおそれがあります。

ワイヤレスLAN、Bluetoothは、日本国内での使用を目的とし、日本国内の規格認定を取得しております。海外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN、Bluetoothを、工場の製造ラインなどで使われている移動体識別用の構内無線局の近くで使用しないでください。万が一移動体識別用の構内無線局との電波干渉が発生したときは、ただちにワイヤレスLAN、Bluetoothの使用を中止し、弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

安全上のご注意(⚠注意)

電源プラグを抜くときはケーブルを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。故障の原因となります。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。漏電・火災の原因となります。

振動や衝撃の加わる場所には設置しないでください。また、重い物をのせないでください。故障による火災･感電の原因となります。

熱の発生源の近く、直射日光のあたるところ、腐食性ガスのある環境、ほこりの多いところ、温度湿度条件を超える範囲では使用･保存しないでください。故障の原因となります。

タッチパッドの表面をペン先などの尖ったもので触れたり、表面シートをはがしたりしないでください。故障の原因となります。

ディスプレイを閉じるときは、キーボードとの間にボールペンなどの異物がないかどうかご確認ください。異物を挟んだまま、ディスプレイを閉じますと、ディスプレイを破損する恐れがあります。

タッチパッドは軽く触れるだけで動作します。必要以上に力を入れたり無理な姿勢で操作すると、指や手首を痛める原因となります。

本体を持ち運ぶときは、ディスプレイを閉じてください。ディスプレイを持ってぶらさげた状態で持ち運ぶと、ディスプレイに強い力が加わり、破損する恐れがあります。

雷が近いときは、すみやかに電源をOFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、LANケーブルなど接続されているケーブル類も抜いてください。故障の原因となります。

タコ足配線をしないでください。コンセントが加熱し、火災・感電の原因となります。

ACアダプタのケーブルの上にものをのせないでください。ACアダプタのケーブルが傷むと漏電・火災の原因となります。

バッテリパックから漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚がかぶれる恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗ってください。

バッテリパックは火中に投じたり、加熱・分解・ショート(＋と－の端子を針金などで接続させること)はしないでください。ケガの原因となります。

バッテリパックを、水や海水などにつけて、濡らさないでください。バッテリパックの破損や性能・寿命を低下させる原因となります。

バッテリパックを小児が使う場合、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。また、使用途中でも、取扱説明書のとおり使用しているかご確認ください。

バッテリパックを使う前に、サビ・異臭・発熱・その他異常と思われるときは、使用しないでください。弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

バッテリパックは乳幼児の手の届かない所へ保管してください。

取扱上の注意

・ハードディスクが動作中のときは移動させないでください。故障の原因となります。
・液晶ディスプレイは先の尖ったものでたたいたり、引っかいたりしないでください。破損する恐れがあります。
・本体外装の汚れは、清潔でやわらかい乾いた布を使い、から拭きしてください。
・本製品の付属物は大切に保存してください。
・ハードディスクに保存したデータなどは、定期的にバックアップをお取りください。

・カラー液晶ディスプレイおよびバッテリパックは消耗品です。
・カラー液晶ディスプレイの有効ドット数の割合は99.99%以上です。
※有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイに表示できる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。
・カラー液晶ディスプレイは表示内容によっては明るさのむらが発生することがありますが故障ではありません。
・使用周囲温度が低いとき、また本製品自体が冷えきっているときは、電源をONにしてもディスプレイのバックライトが「点灯しない」、「点滅する」、「暗い」などの症状がでます。この場合は、一度本体の電源をOFFにし、しばらく常温(10～35℃)の環境に放置した後、お使いください。

マニュアルの読み方

本書では、次のようなルールにもとづき、各種説明をしています。

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧

1
パソコンをセットアップする

2 バッテリパックの取り付け

本機の電源は、付属のACアダプタを接続して供給する以外に、充電されたバッテリパックから供給することができます。
バッテリパックは、ACアダプタを接続すると自動的に充電が始まりますので、まず初めにバッテリパックを本機に取り付けます。

メモ
バッテリパックは消耗品です。使い続けると寿命が短くなり、使用できる時間が短くなります。

バッテリパックの取り付け

バッテリパックを取り付けます。

注意
バッテリパックの使用にあたっては「本製品を正しく安全にご使用いただくために」(☞1ページ)をよく読んで正しい取扱いをしてください。

1 本機の裏面が上になるようにして、本機を置きます。

2 バッテリパックを矢印の方向にスライドさせて取り付けます。
バッテリパックスライドスイッチから、カチッと音がするまでスライドさせます。

3 バッテリパックロックスイッチをロックの位置(LOCK)にスライドさせます。
バッテリパックが確実に固定されていることを確認します。

12

※このページは、読みかたをあらわすために作ったもので、実際のものとは異なります。

①各項目の大見出しです。
②各項目の概要文です。
③各章をあらわす見出しです。
④本製品を扱ううえで、知っておくと便利な内容です。
⑤各項目の中見出しです。
⑥本製品を扱ううえで、注意しないとうまく動作しなかったり、何らかのトラブルが発生するおそれのある内容です。
⑦操作の内容です。
⑧操作による結果の内容です。

目次

第3章　システムを拡張する

第4章　困ったときには

第 1 章

パソコンを
セットアップする

ここでは、パソコンを使用する際の作業環境や作業姿勢について説明します。
また、本機にACアダプタやバッテリパックを取り付け、電源をONにするまでの一連の操作方法を説明します。

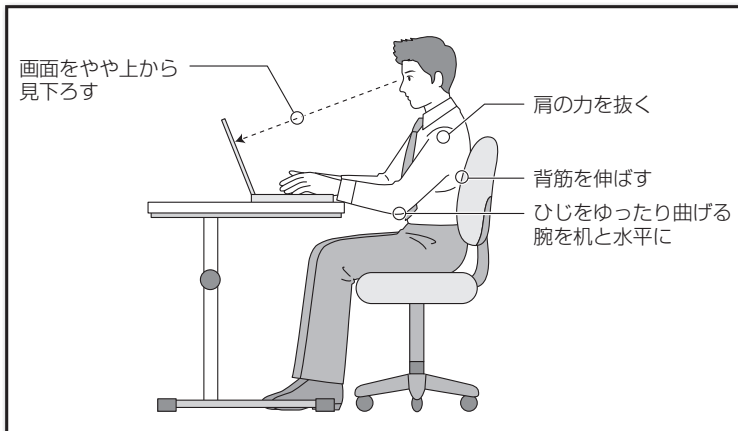
1 作業環境について

パソコンを使った作業は、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業に比べて疲れやすくなります。ここではパソコンで作業をするときに気を付けていただきたい姿勢や、作業環境について説明します。

健康管理について

長時間作業をする場合は、30分ごとに2～3分休憩するなど、適度な休憩をとりましょう。また、座ったままの長時間の作業はストレスなどの原因にもなります。休憩時に軽く体操をするなど、気分転換をはかりましょう。
目が疲れてまぶたが重い、ぼやけて見える、肩が凝る、腕や手がしびれるなどの症状が出始めたら即座に休憩をとり、これらの症状が翌日まで残る場合は、早めに医師に相談しましょう。

パソコンを使うときの姿勢について

次のことに心がけ、リラックスした良い姿勢でパソコンを使用してください。
・画面はやや上から見下ろすように、机やいすの高さを調整する
・いすは背もたれに背中があたるように調整し、背筋を伸ばして座る
・肩に力が入らないようにリラックスし、ひじはゆったりと曲げる
・腕は机と水平になるように、ゆったりと置く

作業環境について

画面が見づらいと、目が疲れやすくなります。次のことに気を付け、画面が見やすいように常に調整しましょう。

◉ 適切な照明のもとで作業する

一般的な事務作業もそうですが、パソコンを使った作業も同様に適切な明かりのもとで行いましょう。

◉ 見やすい位置にディスプレイの角度を調整する

ディスプレイに照明などの光が写り込むと、画面が見づらくなります。また、ディスプレイの特性上、角度によっては画面が見づらくなります。ディスプレイは、見やすい角度に調整しましょう。

◉ ディスプレイの清掃

ディスプレイにほこりがたまると画面が見づらくなります。乾いたやわらかい布で、軽くからぶきするなど、定期的に清掃しましょう。

本機は精密機器です。設置場所や取扱いについては、「本製品を正しく安全にご使用いただくために」(☞1ページ)の注意事項をよく読み、正しい取扱いをしてください。

2 バッテリパックの取り付け

本機の電源は、付属のACアダプタを接続して供給する以外に、充電されたバッテリパックから供給することができます。
バッテリパックは、ACアダプタを接続すると自動的に充電が始まりますので、まず初めにバッテリパックを本機に取り付けます。

バッテリパックは消耗品です。使い続けると寿命が短くなり、使用できる時間が短くなります。

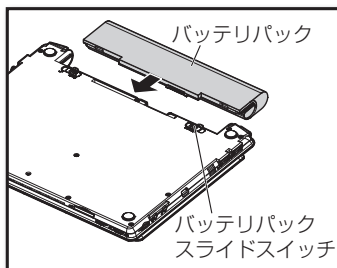
バッテリパックの取り付け

バッテリパックを取り付けます。

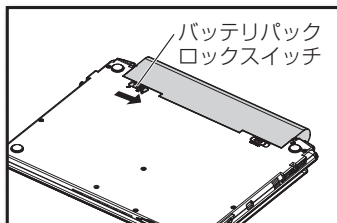
バッテリパックの使用にあたっては「本製品を正しく安全にご使用いただくために」(☞1ページ)をよく読んで正しい取扱いをしてください。

1 本機の裏面が上になるようにして、本機を置きます。

2 バッテリパックを矢印の方向にスライドさせて取り付けます。

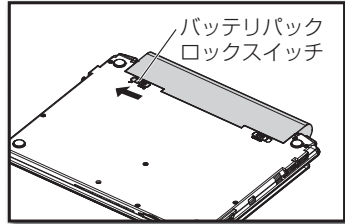
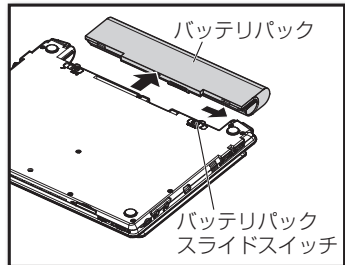
バッテリパックスライドスイッチから、カチッと音がするまでスライドさせます。

3 バッテリパックロックスイッチをロックの位置(🔒 LOCK)にスライドさせます。

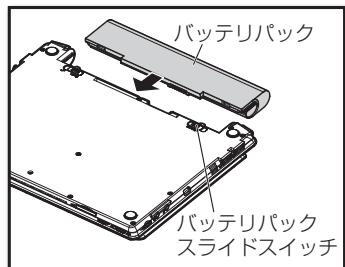
バッテリパックが確実に固定されていることを確認します。

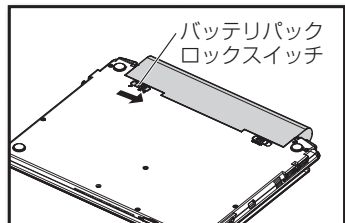
バッテリパックの交換

バッテリ切れなどで、他のバッテリパックに交換する場合は、次の手順で作業します。

1 **本機の電源をOFFにします。**

2 **本機の裏面が上になるようにして、本機を置きます。**

3 **バッテリパックロックスイッチを解除の方向( )にスライドさせます。**

4 **バッテリパックスライドスイッチを、解除の方向(◀ RELEASE)にスライドさせながら、バッテリパックを取り外します。**

5 **交換するバッテリパックを矢印の方向にスライドさせて取り付けます。**

バッテリパックスライドスイッチから、カチッと音がするまでスライドさせます。

6 **バッテリパックロックスイッチをロックの位置(LOCK)にスライドさせます。**

バッテリパックが確実に固定されていることを確認します。

3 ACアダプタの接続

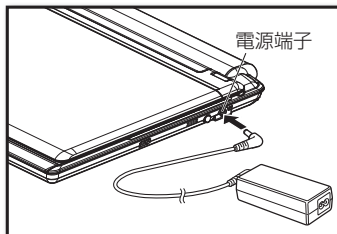
ACアダプタを接続して、本機に電源を供給します。ACアダプタを接続すると、バッテリパックの充電が始まります。

ACアダプタの接続

ACアダプタを接続します。

⚠ 警告

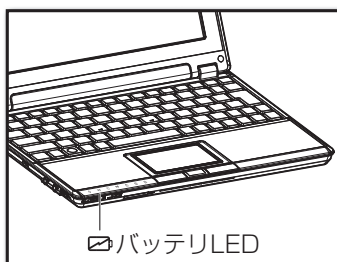
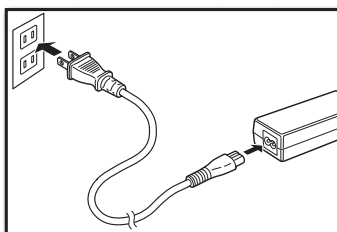
付属のACアダプタおよび電源コード以外のものは、絶対に本機で使用しないでください。本機の故障の原因となるだけでなく、発火や火災の原因となります。

1 **ACアダプタのプラグを、本機の電源端子に差し込みます。**

2 **ACアダプタに電源コードを接続します。**

3 **電源コードのプラグを、ご家庭の電源コンセントに差し込みます。**

バッテリパックの充電が始まり、バッテリLED()が点灯します。バッテリパックが十分に充電されると、バッテリLEDが消灯します。

メモ

- バッテリパックが十分に充電されるまで、約5時間必要です。
- ACアダプタを接続しているときは、本機はバッテリではなくACアダプタから電源が供給されます。そのため、バッテリの充電状態を気にする必要はありません。

電源の供給状態について

本機の電源の状態は、電源LEDおよびバッテリLEDで確認できます。

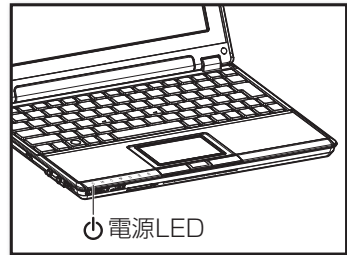
◉ 電源LED(⏻)

青点灯：ACアダプタの電源で本機が動作している状態です。

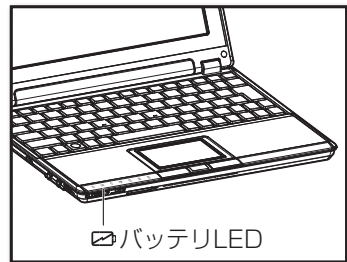
緑点灯：ACアダプタが未接続で、バッテリパックのみで本機が動作している状態です。

青点滅・緑点滅（低速）：
スリープ(省電力モードでの待機)の状態です。

緑点滅（高速）：ACアダプタが未接続で、バッテリ残量が低下している状態です。

消灯：本機の電源がOFFの状態、または休止状態です。

◉ バッテリLED()

点灯：ACアダプタが接続されていて、バッテリパックが充電中です。

消灯：本機の電源がOFFの状態か、バッテリパックが未接続で、ACアダプタの電源のみで本機が動作している状態です。または、ACアダプタが接続されていて、バッテリパックが十分に充電されている状態です。

- **バッテリパックの残量が少なくなってきたら、すみやかにACアダプタを接続するか、作成中のデータを保存して本機の電源をOFFにします。そのまま使用を続けると、本機の電源が自動的にOFFになり、作成中のデータが消去される恐れがあります。**
- **ACアダプタの使用については、「本製品を正しく安全にご使用いただくために」(☞1ページ)をよく読んで正しい取扱いをしてください。**

ACアダプタの取り外し

バッテリパックが充電されている状態では、本機はACアダプタを取り外して使用できます。ACアダプタを取り外すときは、まず電源コンセントから電源コードのプラグを外し、次に本機の電源端子からACアダプタを取り外します。

⚠ 警 告
電源コードは必ずプラグの部分を持って抜き差ししてください。電源コードを持って引っ張るなどすると電源コードの内部が破損し、火災の原因となります。

1

パソコンをセットアップする

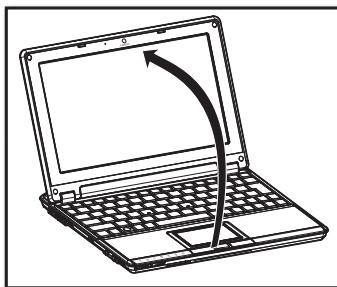
4 電源のONとOFF

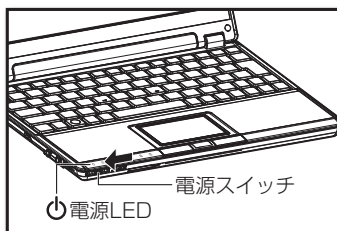
本機の電源をON/OFFする方法について説明します。

ご購入後初めて電源をONにすると、Windowsセットアップ画面が表示されます。添付の「クイックセットアップガイド」を参照して、Windowsセットアップを完了させておいてください。

電源をONにする

本機の電源をONにします。

1 **ディスプレイを持ち上げます。**

2 **電源スイッチをスライドさせます。**

電源がONになります。電源がONになると、電源LED(⏻)が点灯します。

電源スイッチを本機正面右方向(電源OFF方向)にスライドすることで、電源スイッチロック(移動中などの誤動作防止)を使用することができます。電源スイッチロックを解除する場合は、電源スイッチを本機正面左方向(電源ON方向)に強めにスライドします。

電源をOFFにする

必ずWindowsを操作して、電源をOFFにします。

1 **ボタンをクリックします。**
「スタート」メニューが表示されます。

2 **「シャットダウン」を選択します。**
しばらくすると、電源がOFFになります。

◉ 電源をOFFにできないときは

マウスカーソルが動かなくなってしまった、キーボードからの入力を受け付けない、画面のどこをクリックしても反応が返ってこないなどの状態で、電源を強制的にOFFにしたい場合は、本機の電源スイッチを4秒以上スライドさせます。強制的に電源をOFFにした場合は、しばらく待ってからもう一度電源スイッチをスライドさせて電源をONにしなおし、上記の手順で電源をOFFにしてください。

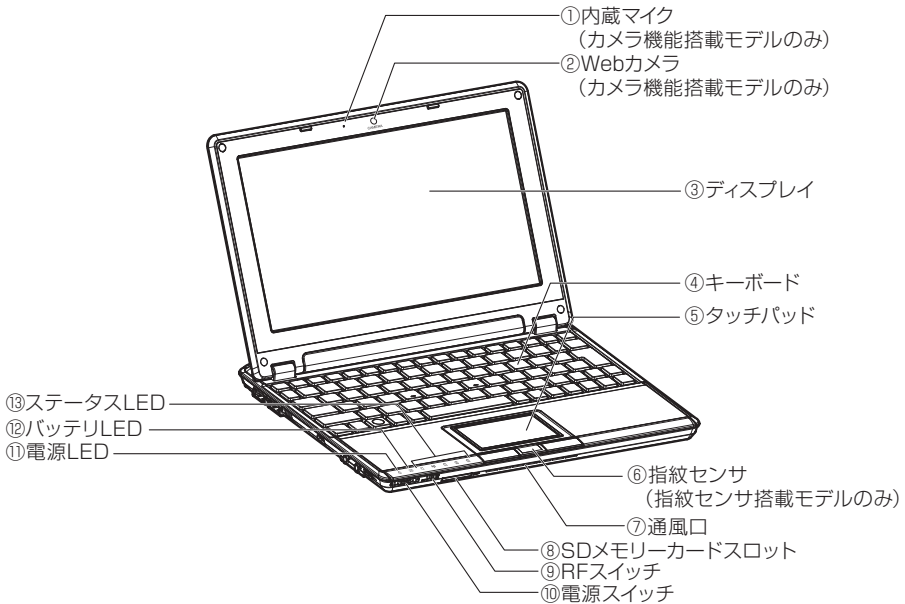
第2章

基本的な使い方

ここでは、本機の各部の名称や、タッチパッドとキーボードの操作など、本機を使うために知っておくべきことがらを説明します。

1 各部の名称とはたらき

本機の各部の名称と、それぞれのはたらきは、次のとおりです。

前面

① **内蔵マイク（カメラ機能搭載モデルのみ）**
音声を入力します。WebカメラがONのときのみ使用できます。

② **Webカメラ（カメラ機能搭載モデルのみ）**
Webカメラを使用して静止画・動画を撮影します。（☞33ページ）

③ **ディスプレイ**
画面を表示します。

④ **キーボード**
文字を入力したり、アプリケーションを操作します。（☞28～31ページ）

⑤ **タッチパッド**
画面のマウスカーソルを操作します。マウスと同じ働きをします。（☞26～27ページ）

⑥ **指紋センサ（指紋センサ搭載モデルのみ）**
指をスライドさせて指紋を読み取ります。（☞34ページ）

⑦ **通風口**
パソコン内部の熱を冷却します。

通風口は、ふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。

⑧ **SDメモリーカードスロット**
SDメモリーカードまたはMMCカードを挿入します。
取り出すときは、カードを軽く押し込むとカードが出てくるので引き抜きます。

SDメモリーカードには「CPRM」、MMCには「セキュアMMC」という著作権保護技術に対応したものがあります。
この技術を使って保存された音楽データや映像データは、本機では再生できません。

本機のSDメモリーカードスロットはSDHC規格に対応しています。また、microSDメモリーカード、miniSDメモリーカード使用時は、SDカード変換アダプタを使用してください。
SDメモリーカードには誤動作防止スイッチがあります。誤動作防止スイッチがロックされていると、データの読み書きができません。誤動作防止スイッチのロックについてはSDメモリーカードの取り扱い説明書をご参照ください。

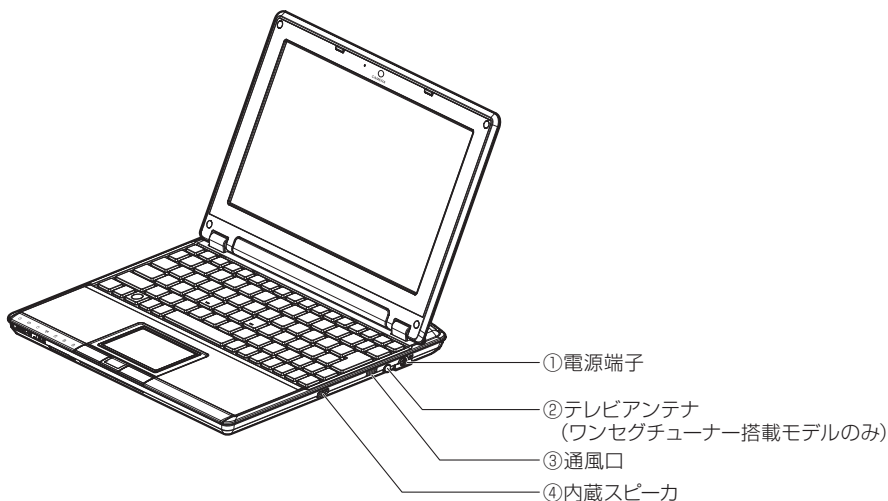
⑨ **RFスイッチ**
ワイヤレスLANおよびBluetoothのON/OFFを切り替えます。

⑩ **電源スイッチ**
本機の電源をONにします。（☞16ページ）

⑪ **電源LED**
本機の電源の状態を知らせます。（☞15ページ）

⑫ **バッテリLED**
バッテリの状態を知らせます。（☞15ページ）

⑬ **ステータスLED**
ハードディスク（SSD）の動作など、パソコンの各機能の状態を知らせます。

右側面

① 電源端子

付属のACアダプタを接続します。
（☞14ページ）

② テレビアンテナ
（ワンセグチューナー搭載モデルのみ）

引き出し式のワンセグ放送受信用テレビアンテナが収納されています。（☞32ページ）

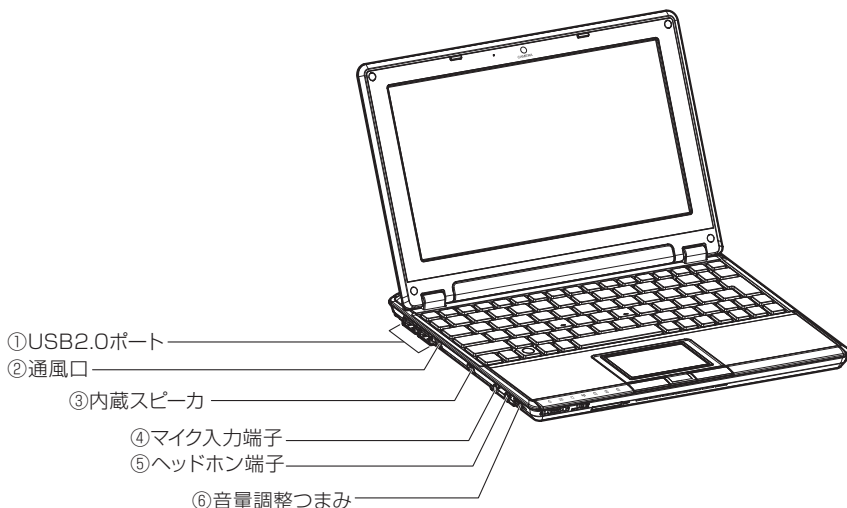
③ 通風口

パソコン内部の熱を冷却します。

通風口は、ふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。

④ 内蔵スピーカ

音声を鳴らします。

左側面

① **USB2.0ポート**

USBに対応する機器を接続します。

② **通風口**

パソコン内部の熱を冷却します。

注 意

通風口は、ふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。

③ **内蔵スピーカ**

音声を鳴らします。

④ **マイク入力端子**

マイクを接続して、音声を入力します。

⑤ **ヘッドホン端子**

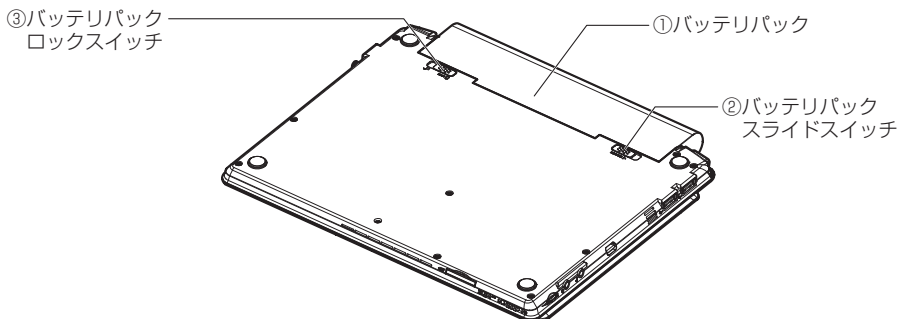
ヘッドホンを接続して、音声を出力します。

⑥ **音量調整つまみ**

音量を調整します。

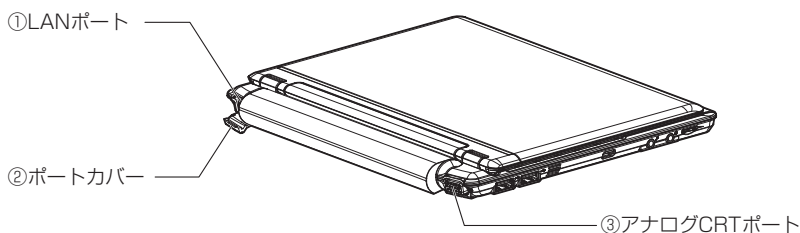
メ モ

音量つまみを押し込むごとに、ミュート・ミュート解除ができます。

裏面

① **バッテリパック**
ACアダプタを使用しないときに、本機の主電源となります。(☞12～13ページ)

② **バッテリパックスライドスイッチ**
バッテリパックを取り外すときにスライドさせるスイッチです。(☞12～13ページ)

③ **バッテリパックロックスイッチ**
バッテリパックが外れないよう、固定します。(☞12～13ページ)

背面

① **LANポート**

本機をLANに接続したり、ADSLなどでインターネットを使うときに、LANケーブルを接続します。

② **ポートカバー**

LANポートが格納されています。LANポートを使用するときに開きます。

③ **アナログCRTポート**

外部ディスプレイを接続します。
(☞44ページ)

2 タッチパッドの使用方法

タッチパッドを使うと、マウスカーソルを操作して、任意のアイコンを起動したり、アイコンを移動したりできます。
タッチパッドの操作方法は、次のとおりです。

マウスカーソルを動かす

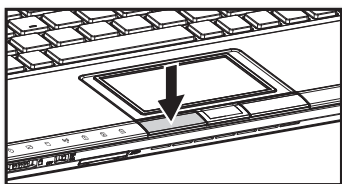
画面に表示されているマウスカーソルを動かすには、タッチパッド上部にあるパッドを、指で触れます。パッドに指をあてた状態で、指を上下左右に動かすと、それに連動してマウスカーソルが上下左右に動きます。

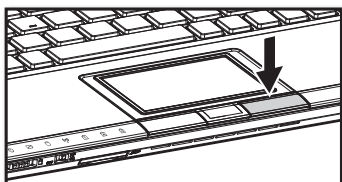
クリックする

マウスカーソルを移動して、マウスカーソルに重なったアイコンなどを操作することを、「クリック」と呼びます。クリックには、次の種類があります。

◉ 左クリック

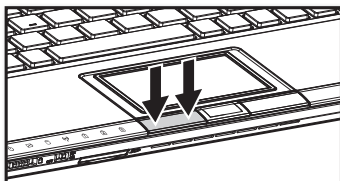
アイコンなどを選択します。
左クリックするには、タッチパッドの左ボタンを1度押します。

パッドを1度軽く叩いても、左クリックと同じ操作になります。

◉ 右クリック

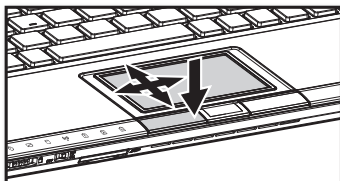
アイコンなどの内容を確認するためのメニューを表示させます。
右クリックするには、タッチパッドの右ボタンを1度押します。

◉ ダブルクリック

アイコンなどを起動させます。

ダブルクリックするには、タッチパッドの左ボタンを2度押します。

パッドを2度軽く叩いても、ダブルクリックと同じ操作になります。

ドラッグする

アイコンなどを任意の場所に移動します。

ドラッグするには、タッチパッドの左ボタンを押したまま、パッドでマウスカーソルを任意の場所へ移動します。

本製品は、マルチタッチに対応しています。マルチタッチの詳しい使用方法は、「デバイス設定：Synaptics TouchPad 」を参照ください。

①タスクバーのをダブルクリックします。
②「デバイス設定」タブの「設定」ボタンをクリックします。

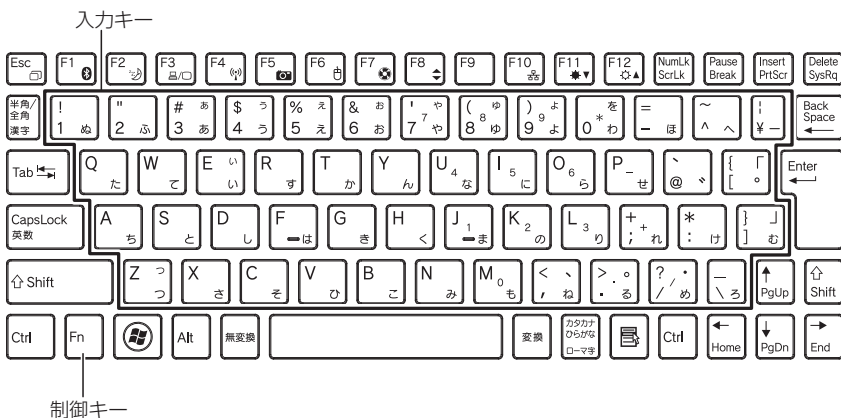
2

基本的な使い方

3 キーボードの使用方法

キーボードは、文字を入力したり、パソコンに任意の命令を与えることができます。
キーボードの構成と、各ボタンの説明は次のとおりです。

キーボードのキーの種類

キーボードの各キーには、ボタンごとに異なる機能があります。キーボードの機能は、大きく2種類に分けることができます。

◉ 入力キー(枠に囲まれたキー)

ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字などの文字を入力します。文字の種類の切り替えは、基本的に制御キーによって行います。

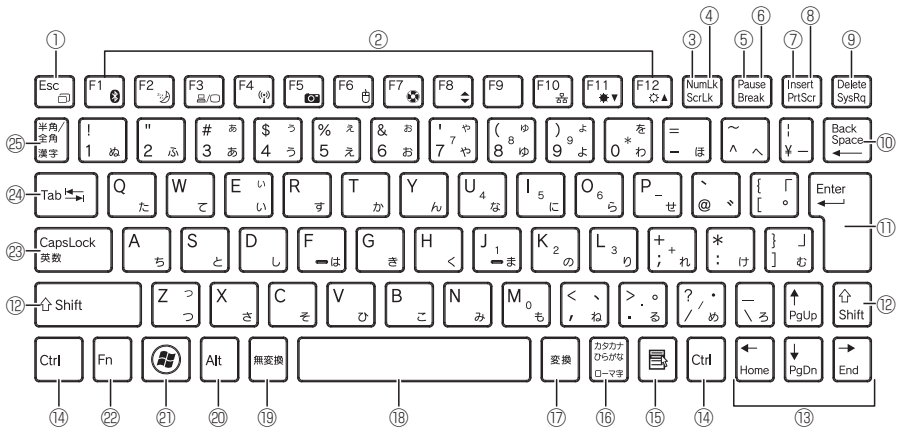
キーによっては、制御キーとの組み合わせにより、特定の動作を行うものがあります。

◉ 制御キー(枠の外にあるキー)

パソコンに、特定の動作を命令するためのキーです。他のキーと組み合わせて使うものや、ソフトウェアによって動作が異なるものがあります。

制御キーの基本的な機能は、次のページで紹介します。

キーボードの名称とはたらき

キーボードの各キーの名称と、それぞれのはたらきは、次のとおりです。

① **エスケープ(Esc)キー**
実行中の操作を取り消したり、ダイアログを消します。

② **ファンクション(F1～F12)キー**
それぞれのキーに、さまざまな機能が割り当てられます。ソフトウェアにより、割り当てられる機能は異なります。

③ **ナムロック(NumLk)キー**
一部のキーをテンキーに切り替えます。
(☞30ページ)

④ **スクロールロック(ScrLk)キー**
Fnキーと同時に押します。ほとんど使用されないキーです。ソフトウェアによって特別な機能が割り当てられていることがあります。

⑤ **ポーズ(Pause)キー**
実行している命令を、中断します。

⑥ **ブレーク(Break)キー**
Fnキーと同時に押します。実行している命令を、中断します。

⑦ **インサート(Insert)キー**
文章を入力するときに、「上書きモード」と「文字挿入モード」が切り替わります。
「上書きモード」は、カーソルの右側に文字がある状態で文字を入力すると、右側にあった文字が入力した文字に上書きされます。
「文字挿入モード」は、カーソルの前後にある文字に、入力した文字が挿入されます。

⑧ **プリントスクリーン(PrtScr)キー**
Fnキーと同時に押します。ディスプレイに表示されている状態を、ビットマップ画像として書き出します。書き出した画像は、Windowsに標準搭載されている「ペイント」などの画像アプリケーションに貼り付けて、使用できます。

⑨ **デリート(Delete)キー**
カーソルより右側の文字を1文字消します。

⑩ **バックスペース(BackSpace)キー**
カーソルより左側の文字を1文字消します。

⑪ **エンター(Enter)キー**
命令を決定します。
文章を入力しているときは、文章が改行されます。

⑫ **シフト(Shift)キー**
他のキーと組み合わせて、さまざまな機能を実行します。
例えば、シフトキーとキャップスロックキーを同時に押すと、アルファベットの大文字と小文字が切り替わります。

⑬ **カーソルキー**
カーソルを上下左右に移動します。

⑭ **コントロール(Ctrl)キー**
他のキーと組み合わせて、さまざまな機能を実行します。
例えば、フォルダを開いているときにコントロールキーと[A]キーを押すと、フォルダにあるすべてのファイルとフォルダが選択されます。

⑮ **アプリケーションキー**
アイコンなどの内容を確認するためのメニューを表示させます。右クリックと同じ動きをします。

⑯ **カタカナ/ひらがなキー**
文字をひらがなで入力するときに押します。
また、シフトキーと同時に押すと、文字をカタカナで入力できます。

⑰ **変換キー**
文字を漢字、カタカナ、アルファベットなどに変換します。

⑱ **スペースキー**
文章を入力しているときに、空白文字を入力します。

⑲ **無変換キー**
文字が全角ひらがな→全角カタカナ→半角カタカナの順に変換されます。

⑳ **オルト(Alt)キー**
他のキーと組み合わせて、さまざまな機能を実行します。
例えば、オルトキーと[F4]キーを同時に押すと、開いているウィンドウが閉じます。

㉑ **Windowsキー**
Windowsの「スタート」メニューが表示されます。
また、他のキーと組み合わせて、さまざまな機能を実行します。
例えば、Windowsキーと[M]キーを同時に押すと、開いているウィンドウがすべて最小化されます。

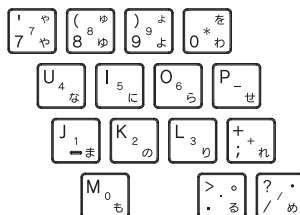
㉒ **エフエヌ(Fn)キー**
他のキーと組み合わせて、さまざまな機能を実行します。(☞31ページ)

㉓ **キャップスロック(CapsLock)キー**
日本語入力と半角英数字入力を切り替えます。また、シフトキーと同時に押すと、アルファベットを入力するときに、大文字入力と小文字入力を切り替えます。

㉔ **タブ(Tab)キー**
カーソルを次の位置へ移動します。また、文章を入力するときに、特定の間隔のスペースを入力します。

㉕ **半角/全角キー**
日本語入力→半角英語入力の順に、入力モードが切り替わります。

テンキーの設定

[NumLk]キーを押すと、次のキーが、テンキーとして機能します。

エフエヌ(Fn)キーの機能

エフエヌ(Fn)キーは、他のキーと組み合わせて、さまざまな機能を実行します。
キーの組み合わせと機能は、次のとおりです。

◉ Fn+Escキー(解像度切り替え)

画面の解像度を切り替えます。「1024×600」モード、「1024×768」モードの2種類を切り替えることができます。
(☞48ページ)

◉ Fn+F1キー(Bluetooth有効・無効)

Bluetoothの機能をON/OFFします。
(☞40〜43ページ)

本機能は「Bluetooth搭載モデル」のみの機能です。

◉ Fn+F2キー(スリープボタン)

休止状態メニューが表示されます。
本機を休止状態に切り替えることができます。

◉ Fn+F3キー(ディスプレイ切り替え)

外部ディスプレイを接続しているとき、パソコンの表示を、本機のディスプレイと外部ディスプレイに切り替えます。(☞44ページ)

◉ Fn+F4キー(無線LAN有効・無効)

ワイヤレスLANの機能をON/OFFします。
(☞36〜39ページ)

◉ Fn+F5キー(内蔵カメラ有効・無効)

カメラ機能をONまたはOFFします。
カメラ機能をONにして、スタートメニューからWebCam Studioを起動します。
(☞33ページ)

本機能は「カメラ機能搭載モデル」のみの機能です。

◉ Fn+F6キー(タッチパッド有効・無効)

タッチパッドの機能をON/OFFします。
(☞26〜27ページ)

◉ Fn+F10キー(LAN有効・無効)

LANの機能をON/OFFします。

◉ Fn+F11キー/Fn+F12キー(ディスプレイ輝度調整)

Fn+F11キー、およびFn+F12キーを押して表示されるOSDメニューで、ディスプレイの輝度を調整します。
Fn+F11キーで輝度が下がり、Fn+F12キーで輝度が上がります。

Fn+F11キー ：下がる
Fn+F12キー ：上がる

・本機では次のキーを使用しません。
Fn+F7キー
Fn+F8キー

2 基本的な使い方

4 ワンセグを視聴する

ワンセグチューナー搭載モデルは、付属のアプリケーションを使用してワンセグ放送を楽しむことができます。

メ　モ

本機能は「ワンセグ搭載モデル」のみの機能です。

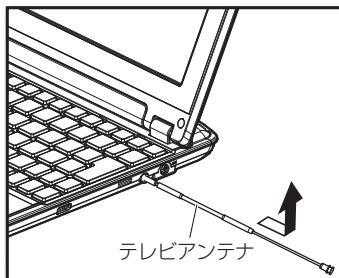
ワンセグの説明

ワンセグは、携帯電話やカーナビゲーションシステム、ノートパソコンなどの移動機器向けに放送されている、地上デジタル放送サービスです。正式名称は、「携帯電話・移動体端末向けの1セグメント部分受信サービス」といいます。
地上デジタル放送の1つのチャンネルは、13のセグメントに分割されていて、ワンセグはそのうちの1つのセグメントを使って放送を行います。このことから「ワンセグ」と呼ばれています。

ワンセグを視聴する

ワンセグ放送を視聴する際は、本機右側面に収納されているテレビアンテナを引き出します。

1 本機右側面のテレビアンテナを引き出します。
※テレビアンテナは、曲げたり伸ばしたりすることができます。電波の受信状況にあわせて、アンテナの向きや長さを調整してください。

2 スタートメニューよりワンセグ視聴ソフトを起動します。
※操作の詳細は、ワンセグ視聴ソフトの取扱説明書をご参照ください。

5 Webカメラを使う

Webカメラ搭載モデルは、ディスプレイ上部にWebカメラを搭載しています。ここでは、カメラの使用方法を説明します。

本機能は「カメラ機能搭載モデル」のみの機能です。

Webカメラを使う

Fn+F5キーを押してOSDメニューを表示し、WebカメラをONにします。WebカメラをONにしたら、スタートメニューから「WebCam Studio」を起動します。

◉ WebCam Studioの使用方法

WebCamで記録した静止画や動画は、「ピクチャ」フォルダ内の「WebCam」フォルダに保存されます。

① **撮影ボタン**
静止画を撮影します。

② **録画ボタン**
動画を録画します。録画ボタンを押すと録画が始まります。もう一度録画ボタンを押すと録画を終了します。

③ **録音ボタン**
音声を記録します。録音ボタンを押すと録音が始まります。もう一度録音ボタンを押すと録音を終了します。

④ **フォルダボタン**
ファイルが保存されるフォルダを開きます。

⑤ **設定ボタン**
WebCam Studioの各種設定を行います。

⑥ **終了ボタン**
WebCam Studioを終了します。

6 指紋認証の使用方法

指紋センサ搭載モデルでは、指紋センサを使った指紋認証が利用できます。ここでは、指紋認証の基本的な知識と操作方法を説明します。

本機能は「指紋センサ搭載モデル」のみの機能です。

指紋認証の説明

指紋認証は、パスワードを入力する代わりに利用者の指紋を読み取ることで認証を行う機能です。Windowsへのログオンや、アプリケーションでユーザID・パスワードを入力する際などに指紋認証が利用できます。

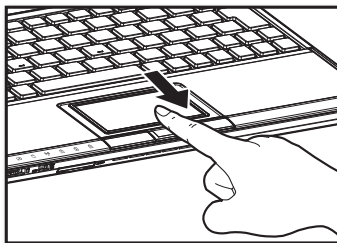
指紋認証ソフトについて

指紋認証を利用するには、指紋認証ソフトをインストールします。
デスクトップの「指紋認証ソフトのインストール」アイコンをダブルクリックすると指紋認証ソフトのインストールが始まります。インストール終了後、ボタン→「すべてのプログラム」→「DigitalPersona Personal」をクリックし、画面の指示にしたがって指紋を登録してください。

指紋を読み取る

指紋センサを使って指紋を読み取る方法を説明します。

1 **指の第一関節付近を指紋センサに押し当てます。**

2 **本機手前方向に向かって、ゆっくりと指をスライドさせます。**
指の先が指紋センサを通過するまでスライドさせてください。

指紋が正常に読み取られない場合は、次のように対処してください。
・乾いた布で指紋センサの汚れを拭き取る
・指を洗浄して乾燥させる

第 3 章

システムを拡張する

ここでは、本機に機器を接続したり挿入するなど、本機のシステムを拡張するための方法を説明します。

1 LAN(ワイヤレスLAN)の使用方法

本機では、ワイヤレスLANを使うことができます。ここでは、ワイヤレスLANの基本的な知識と、接続方法を説明します。

ワイヤレスLANの説明

ケーブルを使わず、電波を使ってLANを構築するシステムのことを、「ワイヤレスLAN」と呼びます。
ワイヤレスLANは、通常「アクセスポイント」と呼ばれる中継器を使い、複数のパソコンをつなぎます。
また、アクセスポイントに「ルータ」と呼ばれる機器を接続すると、インターネットを使うことができます。
最近では、「アクセスポイント」と「ルータ」が1つになった、「ワイヤレスLANルータ」がよく使われています。

・アクセスポイント、およびワイヤレスLANルータは、市販のものをお買い求めください。
・アクセスポイント、およびワイヤレスLANルータの接続方法や設定方法は、各機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

ワイヤレスLANの規格

ワイヤレスLANには、いくつかの規格があります。本機は、「IEEE802.11g」、「IEEE802.11b」規格に対応しています。また、IEEE802.11n対応モデルは「IEEE802.11n」規格（2.4GHz帯のみ）にも対応しています。その他の規格には対応していませんので、ご注意ください。

ワイヤレスLANの接続

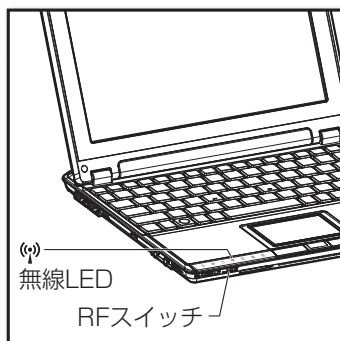
ワイヤレスLANを自動で認識し、接続する方法は、次のとおりです。

ワイヤレスLANを使わないときは、なるべくワイヤレスLANを接続しないようにしましょう。他の通信機器に障害が発生したり、第三者に不正アクセスされるおそれがあります。

・ワイヤレスLANを設定するには、あらかじめアクセスポイントでの設定を行ったうえで、アクセスポイントの電源を入れておく必要があります。アクセスポイントの設定は、アクセスポイントに付属の取扱説明書をご参照ください。
・電源をONにした直後または、スリープモードや休止状態からの復帰時、無線LANは自動的に無効の状態となります。BIOS(☞60ページ)の設定を変更し、自動的に有効の状態にすることもできます。

1 本体手前のRFスイッチをONにして、Fn+F4キーを数回押します。

無線LANの機能をONにします。Fn+F4キーを押すと画面左上に表示される無線LANアイコンが切り替わります。

無線LANの機能がONになると、無線LED((ᵢ))が点灯します。

2 通知領域の「ネットワーク」アイコンをクリックします。

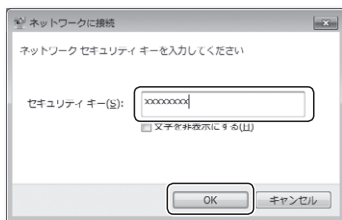
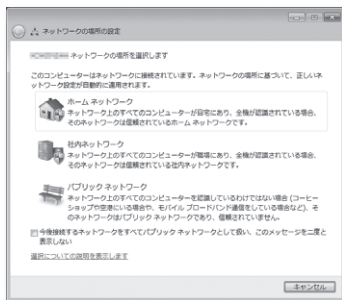
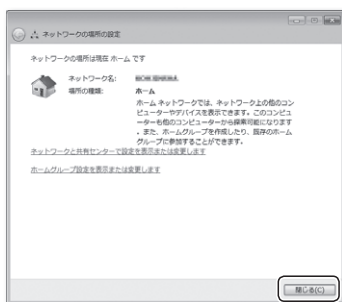
【ネットワークに接続】ダイアログが表示されます。また、本機の近くにあるワイヤレスネットワークが自動的に表示されます。

・近くにアクセスポイントを設置しているにもかかわらず、ワイヤレスネットワークが表示されないときは、 をクリックしてください。
・それでも表示されない場合は、アクセスポイントの設定をご確認ください。

3 接続するワイヤレスネットワークを選択して、[接続]ボタンをクリックします。

【ネットワークに接続】ダイアログが表示されます。

4 **「セキュリティキー」欄にセキュリティキーを入力して、[OK]ボタンをクリックします。**

セキュリティ キーの認証を行います。
認証が完了するとネットワークに接続されます。

5 **【ネットワークの場所の設定】ダイアログが表示されたときは、用途に適したネットワークを選択します。**

6 **[閉じる]ボタンをクリックします。**

「ネットワーク」アイコンをクリックすると、現在の接続状況が表示されます。

ワイヤレスLANの接続の切断

ワイヤレスLANの接続を切断する方法は、次のとおりです。

ワイヤレスLANを使ってデータを送受信しているときは、接続を切断しないでください。データが破損するおそれがあります。

1 **Fn+F4キーを押して、無線LANの機能をOFFにします。**

無線LANの機能をOFFにします。Fn+F4キーを押すと画面左上に表示される無線LANアイコンが切り替わります。
無線LANの機能がOFFになると、無線LED(((•)))が消灯します。

本体手前のRFスイッチをOFFにすることで、無線LANとBluetoothを強制的にOFFにすることができます。飛行機の中など、電波の使用が制限されている場所では、必ずRFスイッチをOFFにしてください。

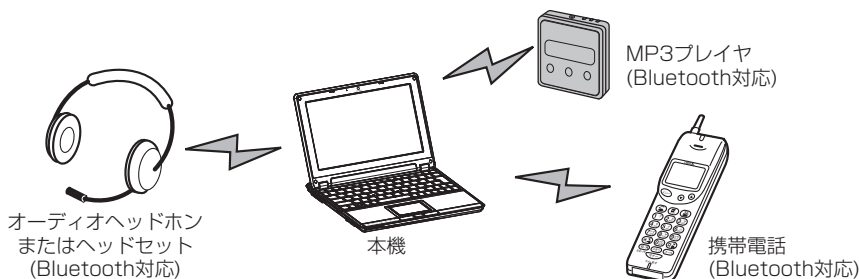
2 ブルートゥース(Bluetooth)の使用方法

本機では、Bluetoothを使うことができます。ここでは、Bluetoothの基本的な知識と、接続方法を説明します。

本機能は「Bluetooth搭載モデル」のみの機能です。

Bluetoothの説明

Bluetoothを使うと、Bluetoothに対応するパソコンやMP3プレイヤ・携帯電話・ヘッドセットなどの製品間で、ケーブルを使わずに音声やデータの交換ができます。Bluetoothは、2.4GHzの帯域で動作し、半径10～100メートル程度の比較的狭い範囲で通信します。本機のBluetooth機能は、半径10メートル程度の範囲で使用します。
Bluetooth機能を使うには、ペアリングによって接続対象を特定し、双方に同一のパスキーを入力して接続を確立します。

・Bluetooth対応機器は、市販のものをお買い求めください。
・携帯電話やヘッドセットなど、Bluetooth対応機器の操作方法は、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

Bluetoothの規格

本機は、標準規格である「IEEE802.15.1」と、「Bluetooth 2.1+EDR」に対応しています。

Bluetoothの接続

Bluetoothの接続方法は、次のとおりです。ここでは、本機と市販のヘッドホンとの接続を例にとって説明します。

注 意

Bluetoothを使わないときは、なるべくBluetoothを接続しないようにしましょう。他の通信機器に障害が発生したり、第三者に不正アクセスされるおそれがあります。

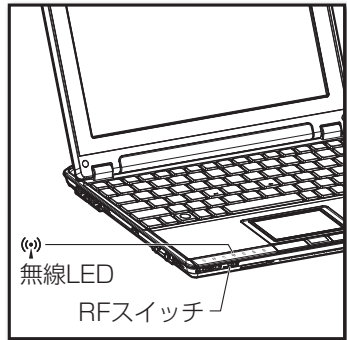
メ モ

電源をONにした直後、またはスリープモードや休止状態からの復帰時、Bluetoothは自動的に無効の状態となります。BIOS(☞60ページ)の設定を変更し、自動的に有効の状態にすることもできます。

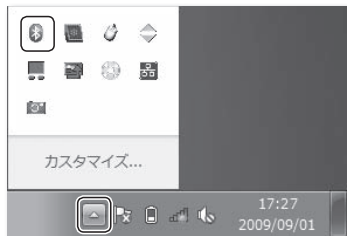
◉ ペアリングを設定する

Bluetooth対応の機器同士が接続できる状態にすることを、「ペアリング」と呼びます。一度ペアリングした機器は、再度ペアリングの設定をする必要はありません。
ここでは、ペアリングの設定方法を説明します。

1 本体手前のRFスイッチをONにして、Fn+F1キーを数回押します。

Bluetoothの機能をONにします。Fn+F1キーを押すと画面左上に表示されるBluetoothアイコンが切り替わります。
Bluetoothの機能がONになると、無線LED((ᵢ))が点灯します。

2 タスクバーにある「Bluetooth」アイコンをダブルクリックします。

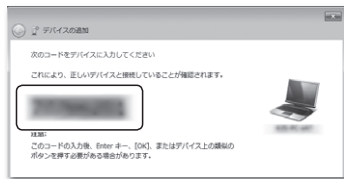
メ モ

通知領域にが表示されていない場合は、をクリックすると表示されます。

3 接続するヘッドホンをペアリングモードにします。接続するヘッドホンの操作方法は、ヘッドホンの取扱説明書をご参照ください。

4 **「デバイスの追加」をクリックします。**
【デバイスの追加】ダイアログが表示されます。

5 **追加するデバイスを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。**

メモ

パスキーが必要なデバイスと接続する場合、画面にパスキーが表示されます。
デバイスに、表示されたパスキーを入力します。

しばらくすると、接続の完了を知らせるメッセージが表示されます。
これで接続は完了です。

◉ ペアリング済みBluetoothに再接続する

一度ペアリングを設定したBluetooth機器に再接続する方法は、次のとおりです。

1 **タスクバーにある「Bluetooth」アイコンをダブルクリックします。**

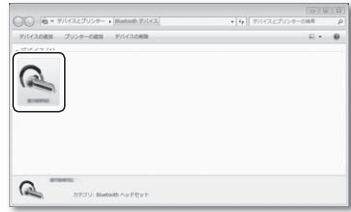
メモ

通知領域にが表示されていない場合は、をクリックすると表示されます。

3

システムを拡張する

2 **表示されているペアリング済みの機器から、接続する機器をダブルクリックします。**

機器と接続するための画面が表示されます。

3 **[接続]ボタンをクリックします。**

しばらくすると、Bluetooth機器と再接続されます。

メ モ

・プロファイルは、各Bluetooth対応機器に固有の通信手順(プロファイル)を標準化したものです。接続する機器同士が同じプロファイルをもっているとき、そのプロファイルの機能を利用した通信ができます。

・本機が対応しているプロファイルは次のとおりです。
A2DP-Sink、A2DP-Source、AVCTP、AVDTP、AVRCP-Target、AVRCP-Metadata、BIP-ImagePush、BIP-Client、BPP Server、DUN-DT、DUN Wizard、DUN-GW、FT-Client、FT-Server、GAP、GAVDP、HCRP-Client、HCRP-Server、Headset-AG、Headset-HS、Hands Free-AG、Hands Free-Client、HID-Host、OPP-Client、OPP-Server、PAN-User、PBAP-Phonebook Access、SDP、Serial-DevA &-DevB、SYNC-Client、SYNC-Server、SyncML、VDP-Sink

Bluetoothの接続の切断

Bluetoothの接続を切断する方法は、次のとおりです。

注 意

Bluetoothを使ってデータを送受信しているときは、接続を切断しないでください。データが破損するおそれがあります。

1 **Fn+F1キーを押して、Bluetoothの機能をOFFにします。**

Bluetoothの機能をOFFにします。Fn+F1キーを押すと画面左上に表示されるBluetoothアイコンが切り替わります。

Bluetoothの機能がOFFになると、無線LED((•))が消灯します。

注 意

本体手前のRFスイッチをOFFにすることで、無線LANとBluetoothを強制的にOFFにすることができます。飛行機の中など、電波の使用が制限されている場所では、必ずRFスイッチをOFFにしてください。

3

システムを拡張する

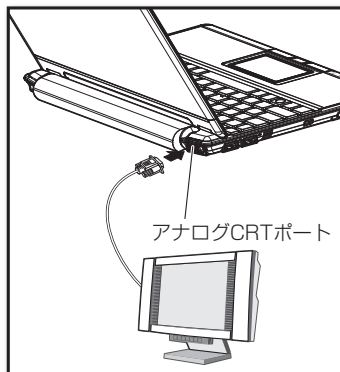
3 外部ディスプレイの接続

外部ディスプレイを接続すると、本機の画面に表示されている内容を、外部ディスプレイに表示することができます。

外部ディスプレイの接続

外部ディスプレイを接続する方法は、次のとおりです。

1 **本機と外部ディスプレイの電源をOFFにします。**

2 **外部ディスプレイのケーブルを、本機のアナログCRTポートに接続します。**

3 **外部ディスプレイの電源をONにしてから、本機の電源をONにします。**

表示の切り替え

Fn+F3キーを押すとOSDメニューが起動し、次の順序で画面の表示が切り替わります。

・本機のディスプレイ

・外部ディスプレイ

・本機のディスプレイと外部ディスプレイの両方

外部ディスプレイの仕様により、表示できない解像度がある場合があります。

第 4 章

困ったときには

ここでは、本機を使用しているときに、何らかのトラブルが発生した場合の対処方法を説明します。
また、本機を廃棄するときの手順も説明します。

1 故障かなと思ったときには

本機がうまく動作しない、設定方法がわからないなど、本機を使ううえで困ったことが発生したときは、次のように対処してください。
それでも解決しない場合は、弊社サービスセンターまでご連絡ください。

起動

起動時に起こるトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ 電源スイッチをスライドしても電源がつかない

・電源プラグ、ACアダプタが正しく接続されていない可能性があります。接続を確認してください。(☞クイックセットアップガイド)

・バッテリパックが十分に充電されていない可能性があります。ACアダプタを使って本機の電源をONにし、バッテリパックを充電してください。

・バッテリパックが消耗している可能性があります。バッテリパックを充電しても充電されない場合は、新しいバッテリパックを購入してください。

・周辺機器をすべて取り外し、電源を入れてください。

・本機またはACアダプタが故障している可能性があります。弊社サービスセンターまでご連絡ください。

◉ 起動時に表示されるWindowsのロゴのまま、画面が止まってしまった

・Windowsを、「セーフモード」で起動をしてください。
①Windowsを再起動し、はじめに表示される弊社ロゴ画面が消えた直後に、F8キーを押し続けます。
②↑ ↓キーで「セーフモード」を選択して、Enterキーを押します。
→Windowsが起動します。
③Windowsにログオンします。
→Windowsヘルプとサポートの「セーフモードとは」ダイアログが表示されます。
④ダイアログ右上の×ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。
⑤もう一度再起動すると正常に戻ります。

・セーフモードで起動できない場合は、リカバリをしてください(☞55～59ページ)。

◉ 画面に意味不明な英語やメッセージが表示された

・メモリカードが挿入されている可能性があります。メモリカード接続時は、メモリカードを取り外してください。

・「前回正常起動時の構成」で起動してください。

①Windowsを再起動し、はじめに表示される弊社ロゴ画面が消えた直後に、F8キーを押し続けます。

②↑ ↓キーで「前回正常起動時の構成(詳細)」を選択して、Enterキーを押します。

→Windowsが起動します。

・セーフモードで起動してください。「起動時に表示されるWindowsのロゴのまま、画面が止まってしまった」(☞46ページ)をご参照ください。

・セーフモードで起動できない場合は、リカバリをしてください(☞55〜59ページ)。

◉ Windowsの起動が遅い

・アプリケーションソフトや周辺機器を追加したことが原因である可能性があります。不要なアプリケーションソフトをアンインストールしたり、周辺機器を取り除いてください。

・ディスクの最適化を行ってください。最適化が終了するまでに数時間かかる場合があります。

①起動中のプログラムをすべて終了してください。

②「スタート」メニュー→「コンピューター」を選択します。

→【コンピューター】画面が表示されます。

③目的のローカルディスクを右クリックして、「プロパティ」を選択します。

→【ローカルディスクのプロパティ】ダイアログが表示されます。

④「ツール」タブを選択します。

⑤[最適化する] ボタンをクリックします。

→【ディスク デフラグ ツール】ダイアログが表示されます。

⑥[ディスクの最適化] ボタンをクリックします。

→最適化が開始されます。

終了

終了時に起こるトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ マウスカーソルが動かなくなってしまい、Windowsを終了できない

・キーボードを使って、Windowsを終了してください。

①[Windows]キーを押します

→「スタート」メニューが表示されます。

②[↑] [↓] [←] [→]キーで「シャットダウン」を選択し、[Enter]キーを押します。

→Windowsが終了します。

画面表示

画面表示についてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ デスクトップ上のアイコンを、思いどおりの場所に置きたい

①デスクトップ上の、アイコンが何もないところで右クリックします。

②表示されるメニューから「表示」-「アイコンの自動整列」にチェックが入っている場合は、「アイコンの自動整列」を選択しチェックを外します。

③手順①と②を繰り返し、表示されるメニューの「アイコンを等間隔に整列」にチェックが入っている場合は「アイコンを等間隔に整列」のチェックを外します。

◉ アプリケーションソフトの表示が遅い

・多くのアプリケーションソフトを同時に起動していると、表示が遅くなります。使っていないアプリケーションソフトを終了させてください。

・本機を再起動してください。

・ディスクの最適化を行ってください。(☞「Windowsの起動が遅い」47ページ)

◉ 画面サイズより大きいウィンドウが表示されて操作できない

・「1024×600」の画面モードを、「1024×768」モードに切り替えてください。

①[Fn]+[Esc]キーを押し、「1024×768」モードに切り替えます。

→画面が「1024×768」モードに切り替わります。

②操作完了後、[Fn]+[Esc]キーを押します。元の解像度になるまで、[Fn]+[Esc]キーを数回押します。

→画面が元の解像度に戻ります。

◉ ディスプレイの色がおかしい、表示が見えない、表示がちらつく

・ディスプレイの角度を調整してください。液晶ディスプレイは、角度によって画面の表示が見えにくい場合があります。

・解像度、色数を変更してください。

①デスクトップ上で右クリックして、表示されるメニューから「画面の解像度」を選択します。

→【ディスプレイ表示の変更】画面が表示されます。

②「解像度」の▾をクリックしてスライドバーをドラッグし、任意の解像度に変更します。

③「詳細設定」を選択します。

④「モニター」タブの「色」の▾をクリックして、任意の色数に変更します。

⑤ [OK] ボタンをクリックします。

・本機を再起動してください。

◉ 画面が真っ暗になってしまった

・一定の時間キー操作を行わなかったために、省電力モードになった可能性があります。電源スイッチをスライドさせてください。

・電源コードやACアダプタが、誤って抜けている可能性があります。接続を確認してください。

タッチパッド

タッチパッドについてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ タッチパッドが使用できない

タッチパッドが無効になっている可能性があります。Fn+F6キーを押してタッチパッドを有効にしてください。

◉ マウスカーソルの動きが悪い

・タッチパッドに汚れやほこりなどがついている可能性があります。きれいな布などで掃除してください。

・タッチパッドを複数の指で触れていたり、袖口があたっている可能性があります。タッチパッド上は、1箇所だけしか触れないでください。

◉ マウスカーソルが、勝手にダイアログの[OK]ボタンなどに移動してしまう

・オートジャンプ機能がONになっていますので、OFFにしてください。

①「スタート」メニュー→「コントロールパネル」を選択します。

→【コントロールパネル】画面が表示されます。

②「ハードウェアとサウンド」→「デバイスとプリンター」欄の「マウス」を選択します。

→【マウスのプロパティ】ダイアログが表示されます。

③「ポインターオプション」タブを選択します。

④「動作」内にある「ポインターを自動的に既定のボタン上に移動する」のチェックを外します。

⑤[適用]ボタンをクリックします。

⑥[OK]ボタンをクリックします。

入力/キーボード

キーボードを使った文字入力についてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ 文字を入力したいのに、数字が入力されてしまうキーがある

・ナムロックキーがロックされています。NumLkキーを1度押して、ロックをOFFにしてください。
(☞「テンキーの設定」30ページ)

◉ Aキーを押すと「ち」が入力されるなど、正しく入力されない

・入力モードが「ローマ字」入力ではなく「かな入力」になっています。MS-IME言語バーの右端の下側にある「KANA」をクリックしてください。

日付と時刻

日付と時刻についてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ 日付と時刻を変更したい

①通知領域に表示されている時刻を選択して、表示されたポップアップウィンドウの「日付と時刻の設定の変更」を選択します。

→【日付と時刻】ダイアログが表示されます。

②「日付と時刻の変更」ボタンをクリックします。

→【日付と時刻の設定】ダイアログが表示されます。

③任意の日付と時刻に変更します。

④ [OK] ボタンをクリックします。

◉ 表示形式を変更したい

①通知領域に表示されている時刻を選択して、表示されたポップアップウィンドウの「日付と時刻の設定の変更」を選択します。

→【日付と時刻】ダイアログが表示されます。

②「日付と時刻の変更」ボタンをクリックします。

→【日付と時刻の設定】ダイアログが表示されます。

③「カレンダーの設定の変更」を選択します。

→【地域と言語】ダイアログと【形式のカスタマイズ】ダイアログが表示されます。

④任意の形式、記号に設定します。

⑤ [OK] ボタンをクリックします。

音声

音声についてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ 音声が聞こえない

・ヘッドホンをご使用になっている場合は、内蔵スピーカから音声は聞こえません。ヘッドホンを外してください。

・消音(ミュート)が設定されている可能性があります。

・音量が小さく設定されている可能性があります。

ワイヤレスLAN

ワイヤレスLANについてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ 突然接続が切断される、接続していても遅い

・本機とアクセスポイントの距離が遠すぎる可能性があります。本機とアクセスポイントを、適切な場所に移動してください。

・ワイヤレスLAN規格(IEEE802.11g、IEEE802.11b、またはIEEE802.11n)により、電波が干渉しあっている可能性があります。電子レンジなど電磁波を発生するものや、無線機、Bluetooth対応機器、医療機器などが近くにある場合は、それらの電源を切るか、本機の場所を移動してください。

・ワイヤレスLANの地域設定が日本以外の地域に設定されている可能性があります。

①「スタート」メニュー→「コンピューター」を右クリックし、表示されるメニューから「管理」を選択します。

→【コンピューターの管理】画面が表示されます。

②画面左側の「デバイスマネージャー」を選択します。

③画面右側の「ネットワークアダプター」をダブルクリックして表示される「ワイヤレスLANアダプタ（モデルにより名称が異なります）」をダブルクリックします。

→【ワイヤレスLANアダプタのプロパティ】ダイアログが表示されます。

④「詳細設定」タブを選択します。

⑤「プロパティ」欄に、「802.11bg zone type」、「Country Region 11G」や「チャンネルコード」などの地域を設定する項目がある場合は、「ETSI」や「Channel 1 - 14」などを選択して日本国内の設定に変更します。

⑥[OK]ボタンをクリックします。

◉ ワイヤレスLANに接続できない

・ワイヤレスLAN接続が有効になっていない可能性があります。接続の設定などをご確認ください。(☞「LAN(ワイヤレスLAN)の使用方法」36～39ページ)

Bluetooth

Bluetoothについてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ Bluetooth機能をONにしても、Bluetooth対応機器が検索されない

・タスクバーのBluetoothアイコンの「B」が赤色になっている場合は、Bluetoothアイコンをクリックし、「アダプターを有効にする」を選択します。

◉ Bluetoothの接続が確立しない

・ワイヤレス機能、Bluetooth機能がOFFになっている可能性があります。本体手前のRFスイッチをONにして[Fn]+[F1]キーを押し、Bluetooth機能をONにしてください。

・タスクバーのBluetoothアイコンの「B」が赤色になっている場合は、Bluetoothアイコンをクリックし、「アダプターを有効にする」を選択します。

・本機の近くに、電子レンジなど強力な電波を発生する機器がある可能性があります。本機と、強力な電波を発生する機器との距離を置いてください。

・誤ったパスキーを入力している可能性があります。接続するBluetooth対応機器の取扱説明書を確認し、正しいパスキーを入力してください。

◉ 使用中突然接続が切れる

・接続するBluetooth対応機器のバッテリが不足している可能性があります。接続する機器のバッテリ残量を確認してください。

・本機の近くに、電子レンジなど強力な電波を発生する機器がある可能性があります。本機と、強力な電波を発生する機器との距離を置いてください。

・本機と、接続するBluetooth対応機器との距離が離れすぎている可能性があります。本機のBluetooth機能は半径10メートル程度の範囲まで使用できますが、接続する機器のBluetooth機能の使用範囲が本機よりも狭い場合があります。接続する機器の取扱説明書でBluetooth機能の使用範囲を確認し、適切な距離で接続してください。

指紋センサ

指紋センサについてのトラブルの、解決方法は次のとおりです。

◉ 指紋センサが動作しない

・指紋センサを使用するには指紋認証ソフトをインストールする必要があります。インストールを行っている場合は、タスクバーにが表示されていることを確認してください。

・お買い上げいただいた状態、またはリカバリを行った後では、指紋認証ソフトはインストールされていません。
指紋認証ソフトのインストールを行ってください。(☞34ページ)

◉ 指紋認証エラーが表示される

・指を置く位置がずれていると、指紋センサで指紋を読み取ることができません。
　指紋センサの中央に指を置き、手前にゆっくりと指をスライドさせてください。

・指紋センサが汚れている可能性があります。乾いた布で指紋センサの汚れを拭き取ってください。

・指が濡れているときなど、指先がふやけていると正常に指紋が読み取れないことがあります。
　指を乾燥させてから、指紋認証を使用してください。

セキュリティ

ウィルスや不正アクセスなどのトラブルの、予防および解決方法は次のとおりです。

◉ ウィルスや不正アクセスを未然に防ぎたい

・ファイアウォールを有効にします。
　①「スタート」メニュー→「コントロールパネル」を選択します。
　　→【コントロールパネル】画面が表示されます。
　②「システムとセキュリティ」の「Windowsファイアウォール」を選択します。
　　→【Windowsファイアウォールによるコンピューターの保護】ダイアログが表示されます。
　③「ファイアウォール設定の更新」の「推奨設定を使用します」ボタンをクリックします。
　④ [OK] ボタンをクリックします。

・市販されている、ウィルス駆除ソフトおよびファイアウォールソフトをインストールします。インストールおよび使用方法は、各アプリケーションソフトに付属の取扱説明書をご参照ください。

・Windowsのアップデートを定期的に行ってください。
　①本機を、インターネットに接続します。
　②「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Windows Update」を選択します。
　　→【Windows Update】ダイアログが表示されます。
　③ [更新プログラムの確認] ボタンをクリックします。
　④表示される指示にしたがって、アップデートをしてください。

◉ ウィルスに感染してしまったので、駆除したい

・即座にLANケーブルを外す、ワイヤレスLANをOFFにするなどして、ネットワークの接続を切断してください。
　その後、ウィルス駆除ソフトをインストールするか、電器店などの「ウィルス駆除サービス」を利用してください。

2 リカバリーについて

本機に何らかのトラブルが生じたときに、トラブルが生じる以前の状態に戻すことを、「リカバリー」と呼びます。ここでは、本機を工場出荷時の状態に戻す手順を説明します。

注 意

- **リカバリーを行う前に、ファイルやフォルダ・メール・アカウントなどのバックアップをとってください。リカバリーは本機を工場出荷時の状態に戻すためのものですので、購入後作成されたファイルは、すべて削除されます。**
- **リカバリーを行うときは、必ずACアダプタを接続し、周辺機器を取り外した状態で行ってください。作業中に電源が切れると、正常にリカバリーができないことがあります。**

リカバリーのモードについて

復旧方法には、「標準」モードと、「高度」モードの2種類があります。

◉ 標準モード

Cドライブのみを購入時の状態に復旧する方法です。

この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブのデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

◉ 高度モード

Cドライブ、Dドライブの両方を復旧する方法です。復旧方法（リカバリーのタイプ）は、2つの方法から選択することができます。

・HDDの全体をCドライブとする
　ハードディスク全体を1つにまとめて、Cドライブとして復旧します。

・HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする
　ハードディスク全体を2つにわけて、Cドライブ、Dドライブとして復旧します。

この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブ、Dドライブ両方のデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

リカバリーを実行する

リカバリー中は、電源を切らないでください。

1 **本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。**

"ONKYO"ロゴの入った画面が表示されます。

本機の電源がOFFであっても、休止状態やスリープ状態からはリカバリーを実行できません。必ず［スタート］ボタン→［シャットダウン］を選択し、本機の電源をOFFにした状態からリカバリーを実行してください。

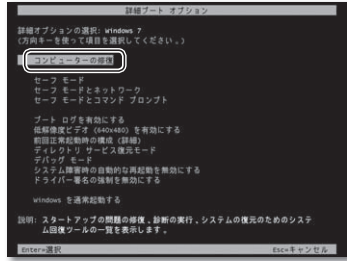
2 **"ONKYO"ロゴが消えた直後、画面が黒くなったらF8キーを数回押します。**

【詳細ブート　オプション】画面が表示されます。

・Windowsが起動してしまった場合、パソコンの電源をOFF（シャットダウン）にして再度手順1をおこなってください。
・"ONKYO"ロゴの入った画面は、表示時間が大変短いです。F8キーを押すタイミングは"ONKYO"ロゴが消えた直後ですが、押すタイミングが合わない場合は、"ONKYO"ロゴが表示されてから【詳細ブート　オプション】画面が表示されるまでの間、F8キーを断続的に押し続けてみてください。

BIOSの設定を変更した場合、リカバリーが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻してからリカバリーを実行してください。

3 **［コンピュータの修復］を選択して、Enter キーを押します。**

Windowsが、コンピュータの修復モードで起動します。起動後、【システム回復オプション】ダイアログが表示されます。

4 **次のように設定されていることを確認してください。**

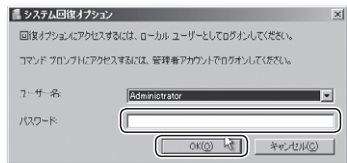
「言語を選択してください」：日本語

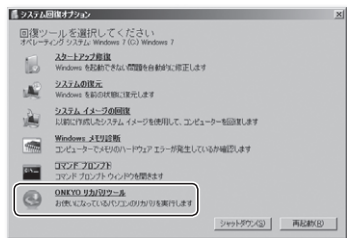
※すでに［日本語］が選択され、変更できなくなっています。設定の必要はありません。

「キーボード入力方式を選択してください」
：Microsoft IME

確認後、［次へ］ボタンをクリックします。

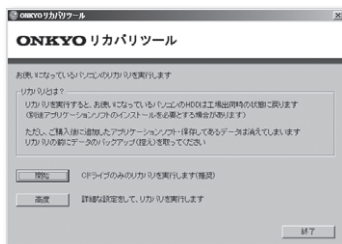
5 **▼をクリックして、表示されるユーザー一覧からユーザーを選択します。**

6 **パスワード欄に、ログオン時に使用するパスワードを入力して［OK］ボタンをクリックします。**

7 **回復ツールの選択一覧から、［ONKYO リカバリツール］をクリックします。**

【ONKYOリカバリツール】が起動します。

4

困ったときには

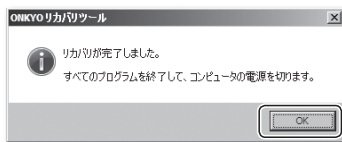
8 **［開始］または［高度］ボタンのいずれかをクリックします。**

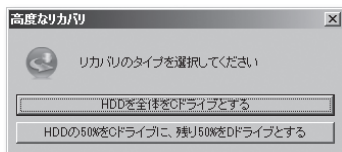
リカバリーを中止する場合は、［終了］ボタンをクリックします。【リカバリツールを終了しますか?】と表示されますので［はい］をクリックすると、手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
［シャットダウン］もしくは［再起動］をクリックして、リカバリーを終了してください。

◉［開始］を選択したとき

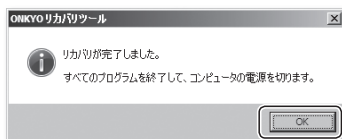
1 **［はい］ボタンをクリックします。**

リカバリーが開始されます。

リカバリーを中止する場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。「リカバリを実行しませんでした」と表示されますので、［OK］ボタンをクリックして、【ONKYOリカバリツール】に戻ります。
［終了］ボタンをクリックすると、【リカバリツールを終了しますか?】と表示されます。［はい］をクリックして、57ページー手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。
［シャットダウン］もしくは［再起動］をクリックして、リカバリーを終了してください。

2 **［OK］ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。**

◉ [高度] を選択したとき

1 [HDDを全体をCドライブとする] または [HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする] のいずれかを選択してください。

2 [はい] ボタンをクリックします。
リカバリーが開始されます。

3 [OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。

3 BIOSセットアップの起動

「BIOSセットアップ」とは、本機の基本的なハードウェアの設定を行うためのものです。通常は、設定を変更する必要はありません。

特に必要がない場合は、BIOSセットアップを行わないでください。また、BIOSセットアップは、設定内容をよく確認したうえで行ってください。
誤った設定をすると、本機が動作しなくなる恐れがあります。

BIOSセットアップの起動

BIOSセットアップを起動する手順は、次のとおりです。

1 **本機の電源をOFFにします。**

2 **本機の電源をONにし、右の画面が表示されている間に F2 キーを押します。**

しばらくすると、BIOSセットアップが起動します。

BIOSの詳しい操作方法については、「ONKYO電子マニュアル」から「付属のマニュアル」→「BIOSセットアップマニュアル」を参照してください。

廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例などにより、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用で、廃棄方法が異なります。

◉ 事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

オンキヨーは、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始致しております。

本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。

事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1.事業系のお客様から、事業系専用リサイクルコールセンターにて受付。
2.全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。
3.リサイクルセンターへ運搬。
4.リサイクルセンター及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきましても、次のWebサイトにてご案内しております。

事業系パソコンリサイクル窓口
一般社団法人パソコン3R推進協会

インターネットからのお申し込み

http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

◉ 家庭系パソコンの回収・再資源化について

2003年10月1日以降にお客様が当社製の家庭利用のパソコンを廃棄される際には、専用窓口にて受付をいたします。回収につきましては、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が日本郵便グループと提携して構築した回収システムを利用いたします。

対象製品(パソコン・ディスプレイ)にはJEITAが定める「PCリサイクルマーク」を貼付して出荷いたします。同マーク付き製品については、無償で回収・再資源化いたします。
PCリサイクルマークが貼付されていないパソコンの回収・再資源化料金は、お客様にご負担いただくことになります。「再資源化料金」は、「リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)」(☞次項)をご参照ください。

・パソコンのリサイクルの取り組みについては、当社ホームページでも紹介しております。ぜひご覧ください。
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/
・同時にパソコンのご購入を検討されている場合は、「インターネット無料査定・パソコン買取りサービス」(http://onkyodirect.jp/pc/used/)で、お使いのパソコンの買取り査定をおこなったうえでパソコンをご購入いただくことをおすすめします。

◉ リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)

PCリサイクルシールの貼付されていないPCをお持ちの場合は、下記料金が別途必要となります。

回収対象製品	回収・再資源化料金(税込)
ノートブック型パソコン	3,150円
デスクトップ型パソコン	3,150円
液晶ディスプレイ一体型パソコン	3,150円
CRTディスプレイ一体型パソコン	4,200円
液晶ディスプレイ	3,150円
CRTディスプレイ	4,200円

(本書制作時)

※なお、お支払い時には各種振込手数料(コンビニエンスストア:¥63、郵便局(窓口):¥110、郵便局(ATM):¥70)が発生します。予めご了承ください。

◉ 回収の仕組み

家庭/個人から排出

お申込

【家庭系パソコンリサイクル窓口】
オンキヨー/ソーテックリサイクルセンター
電話:0570-003196(ナビダイヤル)
月曜～金曜 11:00～17:00
(土･日･祝日および弊社指定休業日を除く)
インターネット:
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

郵送にて、リサイクル費用支払い用紙が到着

支払い

リサイクル費用※の支払い
(コンビニエンスストア･郵便局)

伝票受取

「エコゆうパック伝票」到着
PC梱包時の注意事項※を確認し、エコゆうパック伝票を添付。

回収

「エコゆうパック」にて回収
「お客様持込」または、「戸口集荷」

再資源化

再資源施設へ
排出品の郵送状況は、ゆうびんホームページ(http://www.post.japanpost.jp/)で、「エコゆうパック伝票」のお客様控えに記載されているお問合わせ番号を検索して調べられます。

事業者から排出

お申込

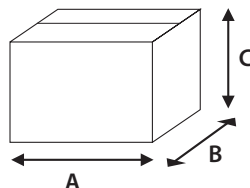
事業系パソコンリサイクル窓口
一般社団法人パソコン3R推進協会
インターネットからのお申し込み
http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/index2.html

料金体系や周辺機器などの個別条件につきまして、上記のWebサイトにてご案内しております。

◉ PC梱包時の注意事項

排出品を梱包し、送付された「エコゆうパック伝票」を梱包した箱等の見やすい場所に貼ります。

■輸送途中で破損・飛散しないような簡易な梱包で問題ありません。
■無梱包での輸送はできません。

◎梱包する際の条件は以下の通りです
・ダンボール箱(もしくは破れにくい袋)
・排出パソコンを含み、重さ30kgまで
・A+B+Cの長さ=1.7m以内

<条件を満たさない場合>
梱包した排出パソコンが30kgを超える、梱包の縦、横、高さの合計が1.7mを超える等の理由により、郵便局で引取りができない場合があります。
その際は、オンキヨー/ソーテックリサイクルセンター受付窓口までご連絡ください。

◎デスクトップパソコンとディスプレイなど、複数台数を同時に排出する場合は、1台ずつ梱包し、それぞれにエコゆうパック伝票を貼ってください。

◎キーボードやマウスなどの標準添付品は、排出するパソコンと同じ梱包箱(もしくは袋)に入れてください。標準添付品以外のものは回収対象となりませんのでご注意ください。

◉ 回収時の条件(回収規約)

オンキヨー及びソーテック製パーソナルコンピューターまたはディスプレイの回収を希望されるお客様は、回収規約(http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/images/20080910.pdf)をご確認頂き、同意して頂いた上で回収のお申し込みをお願い申し上げます。

◉ 家庭系パソコンリサイクル窓口

【オンキヨー/ソーテックリサイクルセンター】

電話：0570-003196(ナビダイヤル)
　　月曜～金曜　11:00～17:00
　　(土・日・祝日および弊社指定休業日を除く)
　　この電話番号は、リサイクル専用です。
　　製品に関するサポートはおこなっておりません。

インターネット:
　　http://www.jp.onkyo.com/pc/recycle/

◉ 市町村からの引取り条件

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(平成三年四月二十六日法律第四十八号)第二十六条に基づく「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済パーソナルコンピューターの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」(平成十三年三月二十八日経済産業省・環境省令第一号)第四条に規定されている「市町村からの引取り条件」について、以下のように公表いたします。

【市町村からの引取り条件】
市町村は、消費者と同じ手続き・条件によって、弊社が製造等をした使用済みパーソナルコンピューターの引取りを弊社に求めるものとします。

手続き・条件については以下の通りです。

●市町村は弊社へ回収の申込みをおこないます。「PCリサイクルマーク」の付いていない製品については、回収再資源化料金の支払いが必要です。「PCリサイクルマーク」の付いている製品については、新たな料金負担なしで回収します。
●廃棄する製品を一台ずつ梱包し、弊社から送付された「エコゆうパック伝票」を貼り付けます。
●市町村において、伝票に記載された郵便局へ集荷を依頼するか、または郵便局(簡易郵便局を除く)へ持ち込むことにより、弊社は使用済みパーソナルコンピューターを引き取ります。

注)製品の汚れ、破壊レベルについては、「エコゆうパック」で安全に輸送でき、再資源化率を遵守できる程度までとします。
※回収再資源化料金については、「リサイクル費用（家庭系パソコンの再資源化料金）」(☞62ページ)をご確認ください。

◉ 廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記録装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合に、一般に

・データを「ごみ箱」に捨てる
・「削除」操作をおこなう
・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
・ソフトで初期化(フォーマット)する
・ハードディスクのリカバリーをおこない、工場出荷状態に戻す

などの作業をしますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されただけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデータは残っているという状態なのです。

従いまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されることがあります。

パソコンユーザーが破棄・譲渡等をおこなう際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要になります。消去するためには、専用のソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

索　引

て

と

な

に

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

む

め

り

る

わ